

【よくある質問】2025年度学生海外チャレンジ応援事業

2025. 3. 28

No.	カテゴリ	質問	回答
1	申請資格	大学院生も申請できるか？	この事業は学部生のみを対象にしているため、申請できません。
2	奨学金	奨学金はいつ支給されるか？	原則、前期に渡航する人には7月末、後期に渡航する人には12月末頃をめどに支給する予定です。
3	審査	ボランティアやインターンシップの参加費を5月中に支払わないといけないのもっと早く結果を教えてもらえないか？	審査にはある程度時間がかかり、急いでも6月末の公表となってしまいます。また、公平な審査の観点からも個別に審査の状況や結果を伝えることはできないので、ご理解ください。
4	審査	今回申し込んで採用された場合、次年度の申込は通りにくくなるか？	一概には言えませんが、採用に当たっては海外渡航の経験が少ない方を優先します。
5	計画	語学留学がしたいが学生海外チャレンジに申請できるか？	語学学校を組み込んだ計画でも応募できますが、語学学校に通うだけのプランはNGです。留学先において実社会との接点を持つ実践活動の企画を含めてください。
6	計画	グループで申請できるか？	申請は個人でしかできませんが、複数人で渡航する計画で各人が申請することはできます。
7	計画	実社会との接点を持つ実践活動とはどんなものか？	現地での研究活動（試料取集などのフィールドワーク等）、ボランティア活動、インターンシップ等がその例です。
8	様式	Form3の【実施スケジュール】の書き方が分からない。	Form1に記載した概要や実践活動の内容と合致するよう、現地到着から滞在最終日までの滞在中の活動のスケジュール（予定）を書いてください。現地の滞在日数が10日～2週間程度であれば1日単位、一月以上であれば、数日～1週間単位程度で記載すると良いでしょう。表や図を貼っても構いません。
9	計画	複数の場所に滞在する計画でも申請できるか？	申請できます。その場合、以下の対応をお願いします。 <Form1> 予定している訪問先について、「訪問先名称1～3」と「訪問先1～3 受入責任者(身分、氏名)」に記載してください。3か所以上ある場合は、主な訪問先3か所について記載してください。 <Form3> 【支援申請額】欄は「アジア」か「その他の地域」の欄に分かれています。渡航先が1か所の場合や、複数であっても同じ地域区分になる場合、どちらか一方に記入しますが、渡航先が「アジア」と「その他の地域」どちらも含む場合はそれぞれに分けて両方ともに記入してください。また、【実施スケジュール】欄は、それぞれの滞在先での予定が分かるように記載してください。
10	計画	学生海外チャレンジ応援事業での計画が終了後、渡航先で観光をしても良いか？	チャレンジでの計画とプライベート滞在を組み合わせることは認められません。
11	計画	他の奨学金に申し込んでいるが同じ計画でチャレンジ応援事業にも申請して良いか？	別の制度に申請した同じ内容で学生海外チャレンジ応援事業に申請することはできません。何にも申請していない、オリジナルな計画で申請してください。

12	様式	「指導教員」に誰を書いたらいいかわからない。	分からない場合は、所属学部の学務担当に聞けば教えてくれる。研究室配属前の学生の場合「担任」「学年主任」「学修カウンセラー」等が指導教員に相当する。
13	様式	申請書類はどうやって提出すればよいか。	<p>募集要項「4. 応募手続き(1)-(3)」に従ってメールで提出してください。紙では受け付けません。データが重い場合はFilesender等を使って送ることができます。 https://www.cc.mie-u.ac.jp/cc/gakunin.html#filesender</p> <p>指導教員推薦書と同意書は手書き又は押印が必要となります。書類作成後にスキャンしてPDFで送付してください。</p>
14	審査	審査はどのように行われるのか。	申請書による書面審査と面接審査を行います。ただし、面接審査は行わない場合もあります。面接がある場合は6月中に申請者に直接連絡があります。